

ひょうごビジョン2050 用語集

	用語	解説
ア	ICT	Information and Communications Technology（情報通信技術）の略語。IT(Information Technology)とほぼ同じ意味を持ちますが、コンピューター関連の技術をIT、コンピューター技術の活用に着目する場合をICTと、区別して用いる場合もあります。
	尼崎21世紀の森	<p>尼崎臨海地域は、重化学工業を中心に日本経済をリードしてきましたが、近代化の過程で、かけがえのない自然を失うとともに、公害の発生など環境面での課題を抱えていました。また、近年の産業構造の変化などにより工場等の遊休地が発生するなど、地域の活力が低下し、その再生が急務になっています。</p> <p>このような状況を踏まえて、尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、人々の暮らしにゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりをめざして、兵庫県では「尼崎21世紀の森構想」を平成14年3月に策定しました。</p> <p>その後、この構想に賛同する多くの主体が中心となって森づくり（まちづくり）に取り組んだことなどにより、工場等の遊休地は減少しましたが、引き続き貴重な資源である運河や工場の景観など特徴を活かした取組を県民・企業等の参画と協働により進めています。（尼崎21世紀の森Web Magagine：http://ama21mag.jp/）</p>
イ	イヌワシ	国の天然記念物イヌワシは全長およそ2メートル。生態系の頂点に君臨する「空の覇者」と言われています。兵庫県内の生息つがい数は1970年代に15ペアでしたが、1980～90年代に2ペアまで激減しました。また、1990年代までは、2ペアが断続的に繁殖したものの、それぞれ1999年、2004年を最後に繁殖が見られませんでした。現在、県内では2ペアが確認されており、2020年には氷ノ山周辺に巣を持つペアが16年ぶりにひなを誕生させましたが、その後に死んでしまいました。
エ	X線自由電子レーザー施設SACLA	播磨科学公園都市にあり、SPring-8と並んで設置された全長700mの施設。平成23年に完成。太陽の100億倍の明るさであるSPring-8の光の、更に10億倍という非常に明るい「X線自由電子レーザー」を発生させて、それを使って物質の極めて速い動きや変化の仕組みを原子レベルで解明する世界最高性能の研究施設です。
	NPO	Non Profit Organization（非営利組織）の略語。(1)営利を目的としない、(2)社会貢献活動を行う民間団体の総称です。
	演劇的手法	「複数の他者が関わり、互いの個性や意見の違いを尊重しながら、一人一人が異なる役割を担って、ひとつのものを創り上げる」ことを特徴とし、合意形成の過程を繰り返す中で、コミュニケーション能力や、やり遂げる力を育成する手法です。

	用語	解説
エ	SNS	Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略語。登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことです。
	エネルギー自立	ひょうごビジョン2050では、できる限り化石燃料に依存しない社会をつくる方向性として「エネルギー自立」と記載しています。太陽光、風力等の再生可能エネルギーだけでは必要なエネルギーをすべて賄うことは難しいため、多様なエネルギー源を組み合わせる利用する必要があり、その中で水素の存在感が高まっていく将来像を示しています。
	新しい形の公社	ドイツではエネルギー供給を核に域内公共交通やインフラ維持管理など地域サービスを展開する自治体出資の公社「シュタットベルケ」が約1,400団体あり、地域に定着しています。日本でも徐々にこうした取組が広がりつつあります。
	エシカル消費（倫理的消費）	地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した商品等を選んで消費することです。
	エリアマネジメント	特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営（マネジメント）を積極的に行う取組です。
オ	大輪田泊（おおわだのとまり）	奈良時代に僧行基が築いたとされる摂播五泊（河尻・大輪田・名寸隅（なぎすみ）・韓・室津）のひとつ。平安時代末に、平清盛が港の前面に経ヶ島を築造して、風波にも安全な港としました。中世以降は兵庫津（ひょうごのつ）と称されています。古代から続く瀬戸内航路の重要な港であり、現在の神戸港の原型といえます。
	大型放射光施設 SPring-8	兵庫県の播磨科学公園都市にある世界最高性能の放射光を生み出すことができる大型放射光施設です。放射光とは、電子を光とほぼ等しい速度まで加速し、磁石によって進行方向を曲げた時に発生する、細く強力な電磁波のことです。SPring-8では、この放射光を用いてナノテクノロジー、バイオテクノロジーや産業利用まで幅広い研究が行われています。
	オープンスペース	都市における公園・緑地・街路・河川敷・民有地の空地部分などの建築物に覆われていない空間のことです。
カ	価値観	何に価値があると認めるかに関する考え方。価値（善・悪、好ましいこと・好ましくないこと、といった価値）を判断するときの根底となるものの見方です。
	加工組立型	一般機械、電気機械、輸送用機械、精密機械などを製造する製造業を金属・加工組立型産業といいます。
	科学技術	科学（science）と技術（technology）は別のものとして伝統的にはっきり区別されていました。しかし、20世紀に入り、科学的原理を技術に応用して役立てようとする考え方が広がるなど、その間の区別がしだいに弱くなり、日本語でも初めは「科学・技術」とされていましたが、1956年（昭和31）の旧科学技術庁の設立に象徴されるように、そのころから「科学技術」というようになりました。

	用語	解説
カ	カーボンニュートラル	2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。
	可視化	人の目には見えない事物や現象を、映像やグラフ・表などにして分かりやすくすることです。
	外国人県民	兵庫県では、総務省「地域における多文化共生推進プラン」に示されている「外国人住民」を参考に、永住者・定住者のほか、近年増加している留学生・技能実習生等も包括した言葉として「外国人県民」を用いることにしています。これに合わせて、ひょうごビジョン2050でも県内で暮らす外国人のことを「外国人県民」と表しています。
	寛容	心が広くて、よく人の言動を受け入れること。他の罪や欠点などをきびしく責めないこと。また、そのさま。
	介護ロボット	ロボットの定義は、①情報を感知し（センサー系）、②判断し（知能・制御系）、③動作する（駆動系）、この3つの要素技術を有する、知能化した機械システムのことを指します。ロボット技術を応用し、介護サービス利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器を介護ロボットと呼んでいます。
	環境創造型農業	農業の自然循環機能の維持を図り、環境への負荷を軽減するため、土づくりを基本として、化学的に合成された肥料及び農薬の使用を低減する生産方式のことです。
	環境エネルギー産業	水、大気、土壌等の環境に与える悪影響や廃棄物、騒音といった問題に対して計測、予防、削減、改善に資する製品・サービスを提供する企業や、産業活動や生活に必要な不可欠な電力、ガス等のエネルギーを開発し、また開発のための設備・機器の製造に携わる企業などが該当します。
	海上空港	海上に建設された空港のことです。神戸空港は、ポートアイランド沖に整備された騒音等の環境問題の少ない海上空港で、神戸の中心地である三宮までわずか8km、18分という利便性の高い空港です。
	海洋開発	石油・天然ガス・メタンハイドレート等の「資源」の開発から洋上風力発電、波力発電、潮流・海流発電等の「海洋再生可能エネルギー」の開発まで、その分野は様々です。
キ	基幹道路ネットワーク	基幹道路とは、自動車専用道路など一定のアクセスコントロール（道路の通行機能を高めるために他の道路との立体交差や沿道からの出入り制限を行うこと）された走行性の高い道路です。基幹道路ネットワークは、「地域産業の活性化」や「交流の拡大」、「緊急輸送の確保」、「交通安全の向上」など様々な役割を担い、県民の生活を幅広く守り支える基礎的な社会基盤です。平成31年3月に「ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画」を策定し、2050年を目標年次とした基幹道路整備を進めています。

	用語	解説
キ	基礎素材型	化学、石油・石炭、鉄鋼・非鉄金属など各種産業の基礎素材を製造する製造業を基礎素材型産業といいます。臨海部に自動化・省力化された巨大な装置型工場が立地するのが特色です。
	協働	みんなが協力・協調し、ともに行動することです。
	共生	異なる種類の生物が、互いに行動や生理（生物に本来備わっている生きていくための仕組み）活動において互いに緊密な関係を保ちながら生活している現象をいいます。両方の生物が利益を得ている「相利共生」、一方は利益を得るが他方は利益も害も受けない「片利共生」、一方は利益を得るが他方は害を受ける「寄生」に区分されます。狭義には、相利共生のことを共生と呼ぶ場合があります。
	キャリア	人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見だしていくことや、その積み重ねのことです。
	共同保育	乳幼児の保育にあたる保護者などが共同して運営にあたる保育のことです。
	ギグワーカー	インターネット経由で単発の仕事を請け負う労働者のことです。
	強靱化	地震や津波、台風などの自然災害に強い国づくり・地域づくりをめざす取組のことです。
ク	グループホーム	知的障害者や精神障害者、認知症高齢者などが専門スタッフまたはヘルパーの支援のもと、集団で生活を行う家のことです。
	クリエイティブ産業	芸術、映画、コンピュータゲーム、服飾デザイン、広告など知的財産権を有した生産物の生産に関わる産業のことです。
	クリーンエネルギー	廃棄物などによる環境汚染が生じないエネルギーのことです。化石燃料系の石油、石炭などは燃焼によって酸化硫黄、酸化窒素、ススなどを出し、また原子力では放射性廃棄物が問題となります。これに対し、太陽エネルギーなどの自然エネルギーは、廃棄物などによる環境汚染が生じないのでクリーンエネルギーとよばれます。
	クリエイター	創造的な仕事をしている人のことです。
	クローズアップ	特定の事柄を大きく取り上げることです。
	ケ	計算科学
健康寿命		平均寿命のうち、健康で活動的に暮らせる期間のことです。WHO（世界保健機関）が提唱した指標で、平均寿命から、衰弱・病気・痴呆などによる介護期間を差し引いたものです。
ケア		世話すること。また、介護や看護のことです。
コ	公正	公平で偏っていないことです。
	行動様式	個人や集団の行動の仕方のうち、その行動の仕方が固定され反復されるものです。

	用語	解説
コ	公民連携	PPP（Public Private Partnership）の訳語としては「官民連携」「公民連携」のいずれもが用いられています。ひょうごビジョン2050では、単なる主体である官（行政）と民（民間）というよりは、行政だけでなく多様な主体が一緒になって「公益」を達成することをめざすという意味を込めて使っています。なお、「官」「民」を主体に関する区分とし、「公」「私」を目的に関する区分として説明を与える研究があり、「主体」に着目する場合に「官民連携」が使用され、公益という「目的」に着目する場合には「公民連携」が使用されることが多いようです。
	固定観念	いつも頭から離れないで、その人の思考を拘束するような考えのことです。
	合意形成	議論などを通じて、関係者が持つ多様な価値観、考え方を顕在化させ、意思決定において相互の意見の一致を図る過程のことです。
	個人事業主	株式会社等の法人を設立せずに自ら独立して事業を行っている人のことです。
	コミュニティ	人間が、それに対して何らかの帰属意識をもち、かつその構成メンバーの間に一定の連帯ないし相互扶助（支え合い）の意識が働いているような集団のことです。
	高付加価値化	従来の商品にそれまで以上の価値を付けて、より高価格で販売できるようにすることです。市場に流通している商品が一般的に大差なくなっていくと、商品（店舗）選択の基準が市場価格（販売価格）の違いだけになってしまい、価格競争が激化します。そんな中で商品をより高級化し消費者のこだわり感に訴求して選択の幅を広げ、他商品（他社）と差別化を図ることです。
	個別化医療	患者一人ひとりの体質や病態にあった有効かつ副作用の少ない治療法（オーダーメイド医療）や予防法（個別化予防）のことです。
	コミュニティビジネス	地域の人々を主体として、地域が抱える課題をビジネスの手法で解決する方策の一つです。1995年の阪神・淡路大震災の被災地のボランティア活動の中から生まれたこの働き方は、今では地域福祉やまちづくり、まちおこしといった多様な分野で全国に広がっています。
	公益的機能	森林は、私的財としての木材生産機能のほかに、国土の保全、水資源のかん養といった広く人々の福祉に貢献する公共財としての機能を有しています。森林の持つ多様な機能のうち、木材生産機能を除いた機能を「公益的機能」といいます。
国際戦略港湾	日本の港湾の国際競争力の強化を図ることを目的に、港のランクとして最上位に位置づけられたものです。	

	用語	解説
サ	サイエンスカフェ	科学技術の分野で従来から行われている講演会、シンポジウムとは異なり、科学の専門家と一般の人々が、カフェなどの比較的小規模な場所でコーヒーを飲みながら、科学について気軽に語り合う場をつくろうという試みです。このサイエンスカフェの活動は、一般市民と科学者、研究者をつなぎ、科学の社会的な理解を深める新しいコミュニケーションの手法として、世界で注目されている活動です。
	里親	さまざまな事情で家族と離れて暮らす子どもを自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って養育する制度です。
	再生医療	機能障害や機能不全に陥った生体組織・臓器に対して、細胞を積極的に利用して、その機能の再生をはかるものです。
	サーキュラーエコノミー（循環経済）	従来の3R（リサイクル、リデュース、リユース）の取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストック（在庫品、たくわえ）を有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指すものです。
	サブスクリプション	月額料金等の定額を支払うことにより、契約期間中、商品やサービスの利用が可能となるものです。
	3R	3R（3アール）とは、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3つのR（アール）の総称です。リデュースは、物を大切に使い、ごみを減らすことです。リユースは、使える物は、繰り返し使うことです。リサイクルは、ごみを資源として再び利用することです。
シ	持続可能	環境・社会・経済などが将来にわたって適切に維持・保全され、発展できることです。
	人的資本	人の持つスキルや能力などを資本と見なして、投資の対象とする考え方は、教育や訓練、経験により蓄積された知識や技能は労働生産性向上に寄与するため、人材は資本であり投資の対象となります。企業が実施する教育訓練などは、まさに人的資本への投資といえます。
	進取の気性	従来の習わしにとらわれることなく、積極的に新しい物事へ取り組んでいこうという気質や性格を指す言い回しです。
	進取の気風	気風は「ある集団や地域内の人々が共通に持っている気質（広辞苑）」、気性は人それぞれの「生れつきの性情（広辞苑）」という意味で使い分けています。
	受容	受け入れること。取り入れることです。
	シェアリングエコノミー	インターネットを介して個人と個人・企業等との間で活用可能な資産（場所・モノ・スキル等）をシェア（売買・貸し借り等）することで生まれる新しい経済の形です。
	志向	考えや気持ちがある方向をめざすことです。
	終身雇用	企業などが正規に採用した労働者を、特別な場合以外は解雇しないで定年まで雇用することです。

	用語	解説
シ	職業訓練	職業上必要な知識や技能を身につけさせることです。
	人生のステージ	人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階のことです。また、家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられます。
	自治	自分や自分たちに関することを自らの責任において処理することです。
	シェアハウス	一つの賃貸物件に親族ではない複数の者が共同で生活する共同居住型賃貸住宅のことです。シェアハウスは、賃貸住宅の一種ですが、一般の賃貸住宅とは異なり、リビング、台所、浴室、トイレ、洗面所等を他の入居者と共用して、共用部分の利用方法や清掃・ゴミ出し等に関する生活ルールが設けられていることが多い点が特徴です。
	社会的孤立	「家族やコミュニティとはほとんど接触がない」という客観的な状態であり、仲間づきあいの欠如あるいは喪失による好ましからざる感情（主観）を意味する孤独とは区別されています。
	自発性	他からの影響・強制などではなく、自己の内部の原因によって行われることです。
	試行錯誤	新しい物事をするとき、試みと失敗を繰り返しながら次第に見通しを立てて、解決策や適切な方法を見いだしていくことです。
	自然循環機能	農業生産活動が自然界における生物を介在する物質の循環に依存し、かつ、これを促進する機能のことです。
	自動運転	人工知能などのシステムが周囲の状況を適切に判断し、自律的かつ安全に自動車を運転することです。狭義には人間の介在を全く必要としない完全自動運転を指し、広義には人間によるハンドルやブレーキなどの操作を、さまざまなシステムで支援することも含みます。
	シェアリングサービス	物品を多くの人と共有したり、個人間で貸し借りをしたりする際の仲介を行うサービスの総称のことです。
	白砂清松	白い砂と青々とした松（主にクロマツ）により形成される、日本の美しい海岸の風景のたとえです。
集合知	多くの人の知識が蓄積したものです。また、その膨大な知識を分析したり体系化したりして、活用できる形にまとめたものです。	
ス	ステレオタイプ	多くの人に浸透している先入観、思い込み、認識、固定観念、レッテル、偏見、差別などの類型化された観念を指す用語です。
	スーパーコンピュータ「富岳」	世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータです。スーパーコンピュータ「京」の後継機として、理化学研究所と富士通が共同で開発・整備し、2021年に本格稼働しました。新型コロナウイルスの飛沫拡散シミュレーションやリアルタイムでの津波浸水予測AIモデルの構築など、様々な研究成果を生み出しています。スパコン性能ランキングでは、4期連続世界1位を獲得しました。
	スポーツクラブ	兵庫で活動する「スポーツクラブ21ひょうご」は「だれもが、いつでも、身近なところで」スポーツができることをめざした地域住民の自発的・主体的運営によるスポーツクラブです。

	用語	解説
ス	スモールビジネス	規模が小さいが優良なベンチャー企業や中小企業のことを指します。少人数、小資本ながら質の高いサービスを提供するビジネスを指す言葉として使われます。
	水素社会	水素が社会に根付き、浸透・発展していく姿のことです。兵庫県では「環境に優しい低炭素な社会」「県民の快適で安心な暮らしが守られている社会」「経済の好循環が生まれ、産業や地域が活性化している社会」と「環境」「暮らし」「産業」の各側面が、互いに影響を及ぼし合いながら、水素が社会に根付き、浸透・発展していく「水素社会」の実現をめざしています。（兵庫水素社会推進構想（2019年3月））
	スマートコミュニティ	再生可能エネルギーやコージェネレーション等の分散型エネルギーを用いつつ、ITや蓄電池等の技術を活用したエネルギーマネジメントシステムを通じて、エネルギー需給を総合的に管理し、エネルギーの利活用を最適化するとともに、高齢者の見守りなど他の生活支援サービスも取り込んだ新たな社会システムを構築したものを指します。
	水源涵養	森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能を持っています。また、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化されます。
セ	生命科学	生命の営みを細胞・分子といったレベルで研究し、人の暮らしや産業に役立てようとする学問です。
	脆弱性	もろくて弱い性質または性格のことです。
	生産性	一定期間に生産された生産物の総量とそれを生産するのに要した土地、労働、資本など生産要素の比で、生産の効率を示す指標です。
	セーフティネット	雇用保険、生活保護、年金、預金保険、融資に対する信用保証など、社会的・個人的な危機に対応する方策のことです。
	先制医療	遺伝的特徴に依拠して発症前診断を行ない、その診断（予見、予測）によって発症前の未病の人に予見的介入を行なうことです。
	生態系サービス	生物多様性を基盤とする生態系から得られる恵みを正しく評価するための概念で、①食料・木材等の供給サービス、②気候等の調整サービス、③生息・生育地サービス、④景観等の文化的サービスの4つの側面があります。
	生物多様性	いろいろな生物が存在している様子です。生態系（生物群集）の多様性、種における多様性、遺伝子の多様性など、各々の段階でさまざまな生命が豊かに存在することです。
ソ	創造的	新しいものを自分の考えや技術などで初めて作りだすさまです。
	属性	その人や事柄が持っている性質や特徴のことです。
	創造力	自分の考えや技術で新しいものをつくりだす力、ものを生み出す能力のことです。

	用語	解説
ソ	SOGIE	人が持つ性の多様性を表す言葉です。①SO（Sexual Orientation：性的指向＝好きになる性別）、②GI（Gender Identity：性自認＝自分の性の認識）、③GE（Gender Expression：性表現＝服装や髪型、一人称等の性別に係る表現）の3要素の略称で、すべての人にそれぞれのSOGIEがあります。
タ	ダイバーシティ	ダイバーシティの元々の意味は、年齢、性別、国籍等の「多様性」ですが、単に多様であるだけでなく、互いの違いを認め合い、受容することまで含めた言葉と捉える必要があります。
	体験学習	自分の身体を通して実地に経験することです。対象となる実物に実際に関わっていく「直接体験」のほか、インターネットやテレビ等を介して感覚的に学びとる「間接体験」、シミュレーションや模型等を通じて模擬的に学ぶ「疑似体験」があります。兵庫県では、兵庫型「体験教育」として、小学校から高等学校まで、それぞれの発達段階を踏まえた環境体験や芸術体験、就業体験などが行われています。
	対話	向かい合って話し合うことです。お互いの立場や意見の違いを理解し、そのずれをすりあわせることを目的に行うものです。
	探求型の教育	自ら立てた問いの課題を解決するために、情報収集等のプロセスを立てながら解決へと導く能力を育てていく教育のことです。
	多文化社会	様々な文化的特徴を有する多様な民族が互いを尊重し、平等に共存していく社会のことです。
	ターミナルケア (終末期医療)	終末期は「治療方針を決める際に、患者はそう遠くない時期に死に至るであろうことに配慮する」時期であり、ターミナルケアはその時期に行われる医療・ケアのことです。
	脱炭素	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにした状態を「脱炭素」と言い、それを実現した社会を「脱炭素社会」と呼びます。
	多自然地域	豊かな自然環境に恵まれ、多彩な農林水産業が営まれる地域のことで。
	多拠点居住	主たる住まいと別の住まいでの生活や、ホテル・ゲストハウスやマンスリーマンション、定額で全国住み放題のサービスなどの利用により複数の場所を行き来する生活など、多拠点で生活することです。
チ	地力	(ちりょく) その土地が作物を生育させることのできる能力。土地の生産力。(じりき) その人が持っている本来の力。実力。ひょうごビジョン2050では前者の意味で用いています。
	知的創造拠点	多様な人が交流し、それぞれの知を結び合わせて新しい価値を生み出す拠点となる場のことで。
	地域自治組織	地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。具体的には、従来の自治・相互扶助活動から一歩踏み出した活動を行っている組織のことです。
	知見	実際に見て知ること。見聞して得た知識のことです。

	用語	解説
チ	長寿命化	インフラなどの耐久性を向上させ、長持ちするようにすることです。
	地域創生戦略	急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少を抑制するとともに、東京圏に一極集中している人口及び活力を地方に分散することにより、地方が自立する構造を確立し、将来にわたって、県内の各地域で活力のある地域社会を構築していくための施策の推進に関して兵庫県が定めている計画。兵庫県の最も総合的な計画であり、ひょうごビジョン2050の主たる実行プログラムとなるものです。
テ	テクノロジー	科学技術。科学の研究成果を生かして人間生活に役立たせる方法のことです。
	デジタル経済	当初はインターネットを中心とするICTを提供する産業の活動を意味する狭いものでしたが、電子商取引の普及に見られるように、インターネット上で提供される様々なサービスが経済全体で存在感を増すにつれて、「デジタル経済」の概念はそのようなサービスを含むより広いものとなりました。さらに、シェアエコノミーやギグエコノミーのようにICTが現実世界の仕組みを大きく変えていく中で、「ICTがもたらした新たな経済の姿」を意味するようになりました。
	デジタル化	デジタル化には、既存の紙のプロセスを自動化するなど、物質的な情報をデジタル形式に変換する「デジタイゼーション」、組織のビジネスモデル全体を一新し、顧客に対してサービスを提供するより良い方法を構築する「デジタライゼーション」が含まれます。
	電子投票	投票所における投票で電子機器を用いて行う投票のほか、インターネットなどのコンピュータネットワークを介しての投票などが含まれますが、日本の公職選挙で採用されているのは投票所で電子機器のタッチパネルや押しボタンを押して投票する方法だけであり、条例を定めた地方自治体の選挙において採用された例がありました。総務省は2020年に、海外在住の邦人による「在外投票」への導入を想定した実証実験が行われましたが、実証実験後の展開や在外投票の導入時期については不明です。なお、海外で
	デジタルトランスフォーメーション	デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取組を指す概念です。
ト	特別養子縁組	さまざまな事情により生みの親のもとでは暮らせない子どもを自分の子どもとして迎え入れる制度です。法的な親子関係を結ぶため、子どもが生涯にわたり安定した家庭を得ることができます。
ニ	二地域居住	2つの生活拠点を持つ、新しいライフスタイルのことです。ある一つの地域に定住したり、ある地域から完全に生活拠点を移すのではなく、都会と地方、地方と地方とを軽やかに行き来しながら、一方の拠点で培った技術や経験、知識、人脈をもう一方の地域で活かす新しい暮らし方です。
	人間中心	技術やシステムに人間が合わせるのではなく、利用者にとって使いやすいように、人間に合わせて設計することです。
ネ	年功序列	勤続年数や年齢が増すに従って地位や賃金上がることです。

	用語	解説
ネ	ネットワーク	個々の人のつながりが情報交換、支援などある目的に沿って活用される場合に使う言葉です。
ハ	バーチャル空間	コンピュータやネットワーク上に構築された仮想的な空間のこと。ネットワーク上で人々が現実世界のように交流を持ったり社会的な営みを行ったりする場であることを、物理的な空間に例えた言葉です。
	伴走型支援	経営環境の劇的な変化の中、経営者単独での対応が困難になっています。そうした中、企業の自走化に向けて、第三者が経営者に寄り添い、企業の自己変革を妨げる障壁を自立的かつ持続的に乗り越えられる状態に導くことです。
	バイタルデータ	患者の状態を把握するための重要な指標。体温、脈拍、呼吸、意識、血圧などのデータのことで。
ヒ	非物質化	産業革命以降の世界経済を支えた大きな要素は、工場などで大量生産されるモノ、つまり物質でした。物質を中心にした投資や消費が経済成長の源でした。それに対して、知識や技能などの無形資産、いわばコトを中心とした経済・社会のあり方へ移行していくことです。
	兵庫津（ひょうごのつ）	兵庫津は千年を超える歴史を誇る港湾都市であり、初代県庁が置かれた“始まりの地”です。古代の大輪田泊は中世以降、兵庫津と呼ばれ、瀬戸内海の大要港として繁栄しました。江戸時代には西国街道を行き交う人々でにぎわい、18世紀以降約2万人が暮らす都市となりました。幕末には諸外国との条約により開港場となり、開港の約半年後、1868年7月にこの地で兵庫県が誕生しました。
	非営利組織	政府とは別組織の、営利を目的としない、市民の自発的な活動団体のことです。
フ	分断	一つにつながっているものを分かれ分かれに切り離すことです。
	VUCA	Volatility：変動性、Uncertainty：不確実性、Complexity：複雑性、Ambiguity：曖昧性の略称です。VUCA時代には、問題解決に加えて問題を「発見」する力、本質を見抜く力が求められます。変化する状況の中で目的を見失わないよう方向性を示すビジョンの重要性が説かれています。
	ファンド	複数の投資家や個人から資金を集めて運用する投資基金のことです。
	プラットフォーム	利用者と生産者など異なるグループや要素を仲介し結びつけることでネットワークを構築する基盤。情報、財、サービスなどの交換を可能にするものです。
	副業	収入を得るために携わる本業以外の仕事を指します。
	フットパス	イギリスを発祥とする『森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと。【Foot】ができる小径（こみち）【Path】のことです。
	プラント	工業活動に必要な素材や資源を作り出す生産設備を指します。
ヘ	偏在化	ある場所に固まって存在していること、またそのさまを意味する表現。都市部と地方部の人口の配置がさらにアンバランスな状態になっていく過程のことを人口の偏在化と言います。

	用語	解説
へ	平均寿命	現在0歳の人は何歳まで生きられるかを示す平均余命のことです。
ほ	包摂	ある事柄を、一定の範囲の中に包み込むことを意味します（広辞苑）。「包摂」は欧州諸国や国連などの国際機関で社会政策の基礎的な理念として確立した言葉となっています。日本でも近年政府文書に「包摂」が使われており（例：平成30年版厚生労働白書第1部第4章「包摂と多様性がもたらす持続的な社会の発展に向けて」）、日本社会にも浸透してきています。ひょうごビジョン2050では「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」ことを「包摂」と位置付けています。
	ボランティア活動	住民が行い、又は住民のために行われる自発的・自律的な活動であって、不特定かつ多数の利益の増進に寄与することを目的とするものです。
ま	MaaS	「Mobility as a Service」の略語。バス、電車、タクシー、シェアサイクルなど、あらゆる移動手段を一連のサービスとして組み合わせて検索・予約・決済等をシームレスに行うサービスのことです。
む	無形資産	物的な実態の存在しない資産のことです。例えば特許や商標権や著作権などといった知的資産、従業員の持つ技術や能力などの人的資産などです。
や	躍動	力にあふれていきいきと活動すること、という意味があります。ひょうごビジョン2050では「誰も取り残されず、みんなが希望を持って生きられる」という意味での「包摂」と「思い思いのチャレンジができ、一人ひとりの可能性が開ける」という意味での「挑戦」、この2つを両輪にして『躍動する兵庫』を実現していくものとしています。
こ	有形資産	現金、証券、商品、不動産など実態の存在する資産のことです。
	ユニバーサルデザイン	バリアフリーが、特定の障害などによりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方に対し、ユニバーサルデザインは、障害の有無、年齢、性別、国籍などにかかわらず、多様な人が利用しやすいよう、あらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方です。
ら	ライフスタイル	衣・食・住に関する選択の結果という単なる生活様式・行動様式だけでなく、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方・アイデンティティなども含まれます。
り	流動化	停滞することなく移動することです。
	リアル	現実世界。実社会のことです。
	リカレント教育（学び直し）	「リカレント（recurrent）」とは、「繰り返す」「循環する」という意味で、リカレント教育とは、学校教育から離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び学び直し、仕事と教育を繰り返すことです。
ろ	労働者協同組合	労働者協同組合とは、労働者協同組合法（令和2年法律第78号）に基づいて設立された法人で、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織のことです。

	用語	解説
ロ	6次産業化	農林漁業の6次産業化とは、1次産業としての農林漁業、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等を総合的かつ一体的に実施し、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組です。これにより農山漁村の所得の向上や雇用の確保をめざしています。
ワ	ワーケーション	Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うことです。休暇主体と仕事主体の2つのパターンがあります。